

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	人員不足に対する不満や、研修機会確保の要望があり、入居者様の笑顔を得るには職員の安定が必要である。	職員の安定化と離職率0に向けての職場の環境の安定及び月に1回以上研修に出るようにする。	調査時よりは離職者0を継続しており 職員が職員を紹介してくれているが、求人広告も出さない程安定しているので、この職場環境の継続を行なう。また、職員から「やりたい・・・やってあげたい・・・」という声を大事になるべく叶えてあげられるようにすることが、入居者様の笑顔に繋がるようにする。研修は、月に1回は出れるように 情報発信を行なっていく。	3ヶ月
2	26	介護計画作成時に担当者会議を開催し、家族 本人 医療機関もしくは意見の照会をして、適正な介護計画を作成する。	ご本人、ご家族の要望等に添った計画の作成とご家族、ご本人参加の担当者会議の開催を行ない より良い計画の作成をする。	介護計画作成時に、ご本人から要望をお聞きし ご家族面会時にも要望などをしっかりお聞きして要望が、その場で止まらないように リーダー、管理者、介護支援専門員にすぐに 意見が届くようにする仕組み作りを行なう。また、運営推進会議等の機会を利用したサービス担当者会議、ユニット会議を利用した会議を行ない 定期的に担当者会議を開催する。	6ヶ月
3	35	消防訓練が年2回行われていない時がある。	必ず年2回の消防訓練を行うようにする。	消防署と綿密に連絡を取り、消防訓練を行う。また、消防訓練も形式的なものではなく職員が興味のある事を中心に より良い消防訓練を行ないます。次回は、消防署にご協力をお願いし 救命救助の講習会を開催することが決まり(6月) 次回の消防訓練には消防署立ち合いのもと、水消火器の訓練及び 2階からの入居者様を避難させる方法として「毛布」を利用した誘導等を教えて頂く事になっています。	6ヶ月